令和５年度　第１回看護師職能集会報告書

【テーマ】語り合おう！看護管理者としての思い－共有と創造－
【日　時】令和５年 10 月 26 日（木）9:30～12:30
【場　所】岡山県看護会館　４階マスカットホール　参集開催
【参加者】参加者 16 人、職能委員 11 人
【プログラム】

9：30　開会挨拶　岡山県看護協会　副会長・看護師職能委員長　池田　悦子
9：40　講演　「日頃のコミュニケーションを質の良いものに変えていく」
看護師職能委員　岡山県立大学　保健福祉学部看護学科（老年/地域・在宅看護学）
教授　實金　栄
10：55　グループワーク
テーマ「①チームマネジメントの困りごと　②皆で元気になるチームにするために」
11：40　グループ発表
12：20　閉会挨拶　看護師職能委員会　副委員長　脇本美香
12：30　閉会

【集会概要】

1.「日頃のコミュニケーションを質のよいものに変えていく」　講師　看護師職能委員　實金　栄

対話の中で、勉強会・面接等でのコミュニケーションを質の良いものに変えていくには、言葉を反復し、一言一言を大切にすることが重要であることを強調されました。

まず「会議 25 のチェックシート」を用い、自部署の身近な会議を思い浮かべ会議の健康度の評価を行いました。チェック項目には「信頼構築」「意義確認」等があり、自部署の会議を見直す機会となりました。

また、「聴きあう」ための「９つのオープン・クエスチョン」と「8 つのあいづち」を活用したロールプレイの見学後、参加者は聞き手と話し手になり対話を行いました。その後ホワイトボード・ミーティングとして、「発散（4 分）・収束（1 分）・活用（1 分）・質問＆アドバイス（1 分）」の技法を学び、その対話内容をホワイトボートに記入していくことで、承認や対話の促進・可視化ができることを学びました。

2.グループワーク

テーマ「①チームマネジメントの困りごと ②皆で元気になるチームにするために」では、4 グループにわかれ、テーマについて意見交換やホワイトボード・ミーティングを行いました。講演内容が活かされメンバー間で活発な対話が図れました。

3.グループ発表

「①チームマネジメントの困りごと」では、コミュニケーションの問題、コロナの忙しさのために時間をかけて看護が提供できないジレンマ、業務改善の不安、記録時間の長さ、委員会での負担、役割認識の問題、人材育成、多職種連携、タスクシフトの課題、人手不足などの意見がでました。

「②皆で元気になるチームにするために」では、管理者の意識変容やコミュニケーションを促進し、理解・承認しあうこと、他者の力を引き出すことの大切さや、他部署とつながっていくことの必要性などの意見があり、参加者間で共有できました。

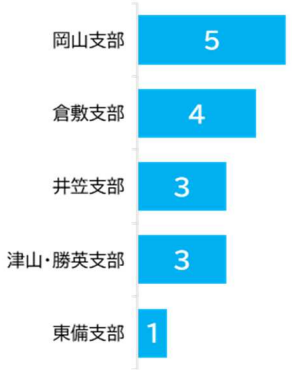
4.講師助言

参加者より、「コミュニケーション能力が低下しているスタッフへの対応について」質問がありました。講師の先生からはコミュニケーションスキルは練習しかなく、練習することでコミュニケーションスキルは高まること、『心の体力』が重要な要素であり、心にエネルギーがないと「言葉が出てこない」「仕事に出て来られず不安も生じる」などの影響を及ぼす、等さらに学びを深めることができました。職場が安心・安全な場であるためには、コミュニケーションを通じ承認しあうことが重要であり、この研修をラダー面接等に活かしてもらいたい、とのご助言を頂きました。

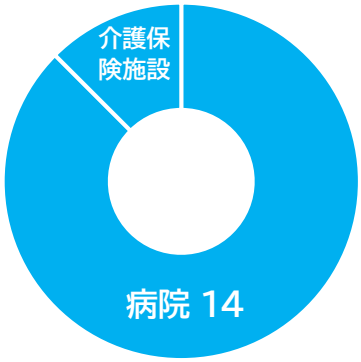
5.アンケート結果

アンケート回収数　16（回収率 100%）

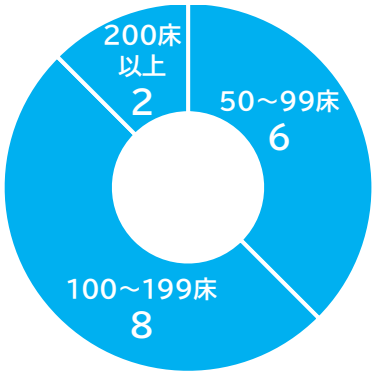
1）支部



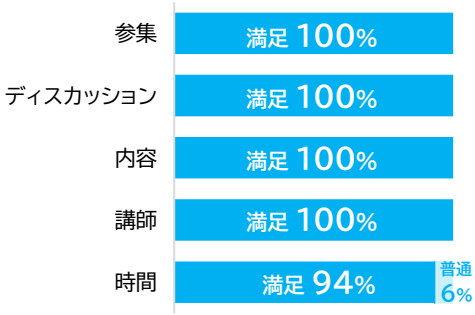
2）勤務施設



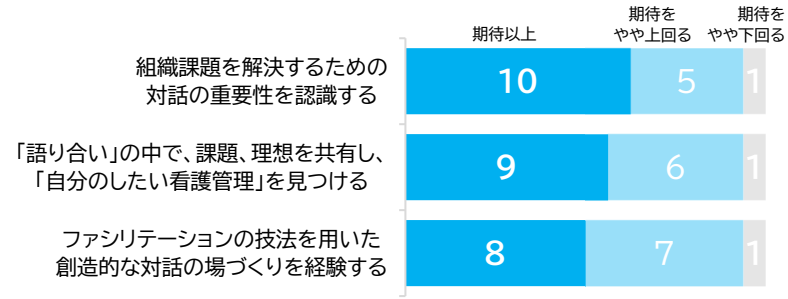
3）病床数



4）満足度



5）目標達成度



6）今回の集会全般に関するご意見・感想など

・ホワイトボードを活用してのミーティングスキルを取得できて良かったです。
・自分だけでない、同じような悩みを持っている方がいることで安心したような気持になりましたが、社会的な問題として、考えていかなければいけないとも思いました。
・とても良い集会でモチベーションが向上しました。実際にディスカッションを体験でき、参集での開催は、ネットワークが広がり良かったです。
・職場での困っていることなどが共有でき、今後につなげる意見もあり良かったです。
・今回参加したことで、日頃の悩みや問題解決へのきっかけがつかめたように思います。
・ファシリテーターとしての役割が多いので、役立てていきたいと思います。参考にさせていただく手段を学べて良かったです。
・日頃の思いを聴いてもらい、アドバイスをいただいて元気が出ました。管理者の先輩方の言葉に励まされました。ありがとうございました。
・今回の集会は、みなさんからの意見がいただけて、気持ちが楽になり本当に感謝します。何回もこの集会を企画してほしいです。お願いします。